

新 旧 対 照 表

【 森林整備保全事業 I C T 活用工事（作業土工（床掘））積算要領 】

改 正 後	現 行	備 考																
<div>別紙 1－②</div> <div>森林整備保全事業 I C T活用工事（作業土工（床掘）） 積算要領</div> <div>1. 適用範囲 本資料は、I C T施工において、3 次元マシンガイダンス（バックホウ）技術及び3 次元マシンコントロール（バックホウ）技術を<b>搭載したバックホウを用いて行う</b>土砂、岩塊・玉石の掘削<b>等</b>である床堀（以下「<b>作業土工（床掘）（I C T）」</b>という。）に適用する。 平均施工幅 2 m以上の土砂の掘削等である床堀の I C T建設機械による施工の積算に<b>当たっては</b>、森林整備保全事業<b>における</b>施工パッケージ型積算基準により行うこととする。 平均施工幅 2 m未満の土砂の掘削等である床堀の積算に<b>当たっては</b>、<b>本要領</b>によるものとする。  <b>ただし、平均施工幅 1 m未満の床堀の積算に当たっては、「森林整備保全事業 I C T活用工事（小規模土工） 積算要領」によるものとする。</b></div> <div>2. 機械経費 2－1 機械経費 作業土工（<b>床掘</b>）（I C T）の積算で使用する I C T建設機械の機械経費は、以下のとおりとする。 なお、損料については、最新の「建設機械等損料算定表」、賃料については、「森林整備保全事業設計積算要領等の細部取り扱い」により算定するによるものとする。 ・作業土工（床掘）（I C T）</div> <table><tr><td>I C T建設機械名</td><td>規格</td><td>機械経費</td><td>備考</td></tr><tr><td><b>【削除】</b>バックホウ（クローラ型）</td><td>後方超小旋回型・超低騒音型、排出ガス対策型（第 3 次基準値）、山積0. 45m3（平積0. 35m3）</td><td>損料にて計上</td><td>I C T建設機械経費加算額は別途計上</td></tr></table> <div>2－2 I C T建設機械経費加算額 2－2－1 損料加算額 I C T建設機械経費損料加算額は、建設機械に取り<b>付</b>ける各種機器及び地上の基準局・管理局の賃貸費用とし、2－1 機械経費のうち損料にて計上する I C T建設機械に適用する。 なお、加算額は、以下のとおりとする。 （1） <b>【 省 略 】</b></div> <div>2－3 システム初期費 I C T建設機械による<b>施工を実施するための現場通信精度確認、ローカライゼーション、I C T建設機械精度確認等、I C T建設機械による施工を行うための必要な初期設定に係る費用及び賃貸業者が行う施工業者への取扱説明に要する費用など、貸出しに要する全ての費用については、I C T建設機械経費損料加算額に含んでいる。</b></div> <div><b>【 削 除 】</b></div> <div><b>【 削 除 】</b></div>	I C T建設機械名	規格	機械経費	備考	<b>【削除】</b> バックホウ（クローラ型）	後方超小旋回型・超低騒音型、排出ガス対策型（第 3 次基準値）、山積0. 45m3（平積0. 35m3）	損料にて計上	I C T建設機械経費加算額は別途計上	<div>別紙 1－②</div> <div>森林整備保全事業 I C T活用工事（作業土工（床掘）） 積算要領</div> <div>1. 適用範囲 本資料は、I C T施工において、3 次元マシンガイダンス（バックホウ）技術及び3 次元マシンコントロール（バックホウ）技術<b>を使用して、構造部の築造又は撤去を目的とした</b>、土砂、岩塊・玉石の掘削<b>など</b>である床堀<b>【追記】</b>に適用する。 平均施工幅 2 m以上の土砂の掘削等である床堀の I C T建設機械による施工の積算に<b>あたっては</b>、森林整備保全事業<b>の</b>施工パッケージ型積算基準により行うこととする。 平均施工幅 2 m未満の土砂の掘削等である床堀の積算に<b>あたっては</b>、「<b>森林整備保全事業 I C T活用工事（小規模土工） 積算要領</b>」によるものとする。 <b>【追記】</b></div> <div>2. 機械経費 2－1 機械経費 作業土工（I C T）の積算で使用する I C T建設機械の機械経費は、以下のとおりとする。  なお、損料については、最新の「建設機械等損料算定表」、賃料については、「森林整備保全事業設計積算要領等の細部取り扱い」により算定するによるものとする。 作業土工（床掘）（I C T）</div> <table><tr><td>I C T建設機械名</td><td>規格</td><td>機械経費</td><td>備考</td></tr><tr><td><b>I C T</b>バックホウ（クローラ型）</td><td>後方超小旋回型・超低騒音型、排出ガス対策型（第 3 次基準値）、山積0. 45m3（平積0. 35m3）</td><td>損料にて計上</td><td>I C T 建設機械経費加算額を加算</td></tr></table> <div>2－2 I C T建設機械経費加算額 2－2－1 損料加算額 I C T建設機械経費損料加算額は、建設機械に取付ける各種機器及び地上の基準局・管理局の賃貸費用とし、2－1 機械経費のうち損料にて計上する I C T建設機械に適用する。 なお、加算額は、以下のとおりとする。 （1） <b>【 省 略 】</b></div> <div>2－3 <b>その他</b> I C T建設機械<b>経費等として、以下の各経費を共通仮設費の技術管理費に計上する。</b></div> <div><b>2－3－1 保守点検</b> I C T建設機械の保守点検に<b>要する費用は、次式により計上するものとする。</b></div> <div><b>（1）作業土工（床掘）（I C T）</b></div>	I C T建設機械名	規格	機械経費	備考	<b>I C T</b> バックホウ（クローラ型）	後方超小旋回型・超低騒音型、排出ガス対策型（第 3 次基準値）、山積0. 45m3（平積0. 35m3）	損料にて計上	I C T 建設機械経費加算額を加算	
I C T建設機械名	規格	機械経費	備考															
<b>【削除】</b> バックホウ（クローラ型）	後方超小旋回型・超低騒音型、排出ガス対策型（第 3 次基準値）、山積0. 45m3（平積0. 35m3）	損料にて計上	I C T建設機械経費加算額は別途計上															
I C T建設機械名	規格	機械経費	備考															
<b>I C T</b> バックホウ（クローラ型）	後方超小旋回型・超低騒音型、排出ガス対策型（第 3 次基準値）、山積0. 45m3（平積0. 35m3）	損料にて計上	I C T 建設機械経費加算額を加算															

新 旧 対 照 表

【 森林整備保全事業 I C T 活用工事（作業土工（床掘））積算要領 】

改 正 後	現 行	備 考
<p>3. 3次元起工測量及び3次元設計データの作成費用</p> <p>3次元起工測量及び3次元設計データの作成を必要とする場合は、共通仮設費の技術管理費に計上するものとし、必要額を適正に積み上げるものとする。また、当該費用は間接費を含む額とし、現場管理費や一般管理費等の対象額に含めないこととする。そのほか、下記の費用に関しては、間接工事費に含まれることから別途計上の対象とならない。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・3次元起工測量 基準点等の設置（従来の起工測量に含まれるもの）</li><li>・3次元設計データ作成 設計図書の照査に関する作業 その他協議図面作成に関する作業 完成図書作成に関する作業</li></ul> <p>費用の計上について、受注者は発注者からの依頼に基づき、見積書を提出するものとし、発注者は費用の妥当性を確認した上で設計変更の対象とし、受注者から見積りの提出がない場合は、「3次元起工測量・3次元設計データの作成費用」は計上しないものとする。</p> <p>また、前工事及び設計段階での3次元設計データを活用した場合、発注者が貸与する3次元設計データを活用した場合は、費用計上しないものとする。</p> <p>なお、「3次元起工測量・3次元設計データの作成費用」については、当初設計では計上しない。</p> <p>4. 3次元出来形管理・3次元データ納品の費用、外注経費等の費用</p> <p>出来形管理を行わないため、標記経費は計上しない。</p> <p>【参考】</p> <p>1. 施工歩掛</p> <p>（1）～（2） 【 省 略 】</p> <p>表1.1 土質区分</p> <p>【 表 省 略 】</p> <p>1－1 日当たり施工量</p> <p>バックホウによる床掘り（作業土工）の日当たり施工量は、次表を標準とする。</p> <p>表1.2 床掘り（バックホウ掘削）日当たり施工量 （1日<b>当たり</b>）</p> <p>【表 省 略 】</p> <p>(注) 1. ～2. 【 省 略 】</p>	<p>保守点検費 ＝ 土木一般世話役(円) × 0.05(人/日) × <math>\frac{\text{施工数量(m3)}}{\text{作業日当り標準作業量 (m3/日)} \times 1.09}</math></p> <p>(注) 作業日当り標準作業量は「施工パッケージ型積算基準 第11章 その他② 作業日当たり標準作業量」の I C T 標準作業量による。</p> <p>2－3－2 システム初期費</p> <p>I C T 施工用機器の賃貸業者が行う施工業者への取扱説明に要する費用、システムの初期費用等、貸出しに要する全ての費用は、以下のとおりとする。</p> <p>作業土工（床掘）（ I C T ）</p> <p>対象建設機械：バックホウ</p> <p>費用： I C T 建設機械経費損料加算額に含む</p> <p>3. 3次元起工測量・3次元設計データの作成費用</p> <p>3次元起工測量・3次元設計データの作成を必要とする場合は、共通仮設費の技術管理費に計上するものとし、必要額を適正に積み上げるものとする。【追記】</p> <p>なお、3次元起工測量については、土工の掘削・盛土等と併せて、起工測量が行えない場合に計上する。</p> <p>4. 3次元出来形管理・3次元データ納品の費用、外注経費等の費用</p> <p>作業土工（床掘）（ I C T ）については、出来形管理を行わないため、費用は計上しない。</p> <p>【参考】</p> <p>1. 施工歩掛</p> <p>（1）～（2） 【 省 略 】</p> <p>表1.1 土質区分</p> <p>【 表 省 略 】</p> <p>1－1 日当たり施工量</p> <p>バックホウによる床掘り（作業土工）の日当たり施工量は、次表を標準とする。</p> <p>表1.2 床掘り（バックホウ掘削）日当たり施工量 （1日<b>当り</b>）</p> <p>【 表 省 略 】</p> <p>(注) 1. ～2. 【 省 略 】</p>	

新 旧 対 照 表

【 森林整備保全事業 I C T 活用工事（作業土工（床掘））積算要領 】

改 正 後	現 行	備 考																
<div>1－2 床掘り（作業土工）補助労務 構造物等（共同溝を除く）の施工に当り土留方式により床掘作業を行う場合、土留材等に付着する土（土べら）及び腹起し・切梁・火打梁等により機械掘削出来ない箇所、小規模な湧水処理等の作業のため、普通作業員を計上する。</div> <div>表1.3 床掘り補助労務 (100m3<del>当</del>た<del>り</del>)</div> <div>【 表 省 略 】</div> <div>2. 単価表 （1）床掘り 100m3<del>当</del>た<del>り</del>単価表 【 表 省 略 】</div> <div>（2）機械運転単価表<table><tr><th>機 械 名</th><th>規 格</th><th>適用単価表</th><th>指 定 事 項</th></tr><tr><td>バ ッ ク ホ ウ （ ク ロ ー ラ 型 ） （ 床 掘 り ）</td><td>後方超小旋回型・超低騒音型 排出ガス対策型（第3次基準 値）山積0.45m3（平積0.35m3）</td><td>2. 単価表 （3）</td><td>運転労務数量→1.00 燃料消費量 →<del>44</del> 機械損料数量→1.33</td></tr></table></div> <div>（3）運転1日当たり単価表 【 表 省 略 】</div>	機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項	バ ッ ク ホ ウ （ ク ロ ー ラ 型 ） （ 床 掘 り ）	後方超小旋回型・超低騒音型 排出ガス対策型（第3次基準 値）山積0.45m3（平積0.35m3）	2. 単価表 （3）	運転労務数量→1.00 燃料消費量 → <del>44</del> 機械損料数量→1.33	<div>1－2 床掘り（作業土工）補助労務 構造物等（共同溝を除く）の施工に当り土留方式により床掘作業を行う場合、土留材等に付着する土（土べら）及び腹起し・切梁・火打梁等により機械掘削出来ない箇所、小規模な湧水処理等の作業のため、普通作業員を計上する。</div> <div>表1.3 床掘り補助労務 (100m3<del>当</del>り)</div> <div>【 表 省 略 】</div> <div>2. 単価表 （1）床掘り 100m3<del>当</del>り単価表 【 表 省 略 】</div> <div>（2）機械運転単価表<table><tr><th>機 械 名</th><th>規 格</th><th>適用単価表</th><th>指 定 事 項</th></tr><tr><td>バ ッ ク ホ ウ （ ク ロ ー ラ 型 ） （ 床 掘 り ）</td><td>後方超小旋回型・超低騒音型 排出ガス対策型（第3次基準 値）山積0.45m3（平積0.35m3）</td><td>2. 単価表 （3）</td><td>運転労務数量→1.00 燃料消費量 →<del>48</del> 機械損料数量→1.33</td></tr></table></div> <div>（3）運転1日当たり単価表 【 表 省 略 】</div>	機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項	バ ッ ク ホ ウ （ ク ロ ー ラ 型 ） （ 床 掘 り ）	後方超小旋回型・超低騒音型 排出ガス対策型（第3次基準 値）山積0.45m3（平積0.35m3）	2. 単価表 （3）	運転労務数量→1.00 燃料消費量 → <del>48</del> 機械損料数量→1.33	
機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項															
バ ッ ク ホ ウ （ ク ロ ー ラ 型 ） （ 床 掘 り ）	後方超小旋回型・超低騒音型 排出ガス対策型（第3次基準 値）山積0.45m3（平積0.35m3）	2. 単価表 （3）	運転労務数量→1.00 燃料消費量 → <del>44</del> 機械損料数量→1.33															
機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項															
バ ッ ク ホ ウ （ ク ロ ー ラ 型 ） （ 床 掘 り ）	後方超小旋回型・超低騒音型 排出ガス対策型（第3次基準 値）山積0.45m3（平積0.35m3）	2. 単価表 （3）	運転労務数量→1.00 燃料消費量 → <del>48</del> 機械損料数量→1.33															